

災害の発生時における対応、 発生以前の対応について



中嶋 通治

問 夜間訓練について、自主防災組織の要望があれば積極的に支援するとの答弁であったが、ブラックアウトについては今後研究していくとの答弁であった。市として研究ではなく積極的に夜間訓練を行うべきであるがいかがか。

答 実施するにあたり安全に配慮し、効果的な実施について検討していく。

問 庁舎の自家発電機の動作確認を行っているのか。また、72時間経過したのちの対策は。

答 停電検査で確認している。1万ℓの燃料を確保している。不足についての燃料は石油組合にお願いしている。

問 小中学校で児童生徒の訓練を定期的に行っているのか。

答 すべての小中学校において、避難訓練や全国瞬時警報システムを活用した初動訓練などを実施している。具体的な避難方法や避難する際の注意事項等を指導している。今後は水害を想定した訓練の実施についても検討する。

問 子ども児童の引き渡しについて

答 原則保護者に引き渡す。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、12月10日（金）、13日（月）、14日（火）の3日間にわたり18名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。

詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、2月上旬となる予定です。



子宮頸がん予防ワクチン 積極的勧奨再開に向けて



五十嵐 恵千子

問 国は、2013年6月より子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨を差し控えていましたが、来年度から「積極的勧奨」を再開するとの報道がある。当市も小6年生～高校1年生相当の女子及び積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した方々にも個別通知で周知し接種率の向上を。

また、市広報紙・HPなどでも広く周知を。

答 当市においても国からの通知を踏まえ、予診票を同封した個別通知を送付し、接種勧奨を行う。また、国の方針が積極的勧奨へ変わったことを広く周知する。

◆市のDX推進計画は戦略的に

問 コロナ禍・人口減少・高齢化等、社会構造の急激な変化の中で、社会全体がデジタル化に向かわざるを得ない今、当市においても行政DX・地域DXなど、人材育成・確保を図りながら、幅広く戦略的にデジタル化を進めるべき。見解を。

答 仰る通り。人材確保を図り進めていきたい。

高齢者のための 無料入浴券について



赤出川 義夫

問 高齢者の憩いの場として利用されてきた地元の銭湯が、令和4年3月末で閉店すると聞いてます。健康増進のための無料入浴券配布経緯、利用状況、今後他の入浴施設への補助は。

答 高齢者福祉の推進、一般公衆浴場の確保を図るため平成30年より開始、年間570名利用。国の調査では浴室保有率は、95.2%であり市内の他の公衆浴場は銭湯とは異なり、雇用や休養等を目的としていることもあり、今後検討したい。

◆小児用コロナワクチン接種について

問 令和3年11月16日付で厚労省より、「5歳以上11歳以下の者への新型コロナワクチン接種に向けた接種体制の準備について」の通知に対し、市として安全性の認識は。

答 小児用ワクチンは臨床試験で有効性、安全性については厳格な評価が行われ、薬事承認されていると認識している。これまでも、ファイザー社製ワクチン接種の対象年齢が拡大されるなど、有効性・安全性が十分確認されている。